

【総合的な学習の時間】 第15回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 発表原稿とスライドについて

2. 本時の概要

本時は、「探究Day(小学生・中学生の部)」に向けて、ポスターセッション形式(発表6分・質疑6分)で使用する発表原稿の作成を開始する回である。前半では、日常の気づきを記録する「LIFEログ」をスクールタクトへ入力したのち、発表原稿とスライドの基本構成(タイトル、研究背景、目的・リサーチクエスチョン、本論、結論・今後の展望、引用・参考文献)について教員から説明を行う。スライド作成における視覚的ポイント(要約、色・サイズの強調、図表活用)や、発表原稿の具体的な構成(タイトル～締めくくりまでの6パート)を提示する。後半のワークでは、各グループに分かれて「発表原稿シート」を用いた共同編集を行う。次回の授業までの原稿完成に向け、グループ内での記述内容の具体化を促すことをねらいとする。

3. 本時の目標

- LIFEログを通じた継続的な自己省察(メタ認知能力):

日々の気づきを適切に記録し、これまでの探究活動や今後の計画に活かそうとする態度を養う。

- 論理的な発表構成の理解と原稿作成(成果を表現する力・論理的思考力):

指定された構成(6つのパート)に沿って、初めて聞く人にも伝わるような要点をまとめた発表原稿を作成し始めることができる。

- チーム内での協働と計画的なタスク管理(協働する力・自分と向き合う力):

グループ内で密にコミュニケーションを取り、次回授業までの原稿完成という目標を意識して主体的に作業を進めることができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:

- 授業スライド 第15回

- 使用教材(副教材):

- 岡本尚也(2019)『課題研究メソッド Start Book』新興出版社啓林館

- 生徒用配布:

- 発表原稿シート(Googleドキュメント)
- 発表スライドテンプレート(Googleスライド)

- 参考文献:

- 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
- 鳥取県中部地域公共交通協議会(2018). 鳥取県中部地域公共交通網形成計画p18.

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の内容説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ(1)LIFEログ、(2)発表原稿とスライドについて、(3)今後の予定)を確認する。	・本格的な発表準備(原稿・スライド作成)を意識させる。
1分	② 「LIFEログ」の説明 ・スクールタクトの「総合的な学習/探究」から課題を開くよう指示する。 ・入力方法や注意点(タイトルを入力する、文字サイズは自動調整されるため変更しないなど)を確認する。	・文章の量として、まずは4～5行書くことを目標に設定する。 ・記述量が多く枠が足りない生徒には、「…」からページを複製して追加できることを伝える。
8分	③ 「LIFEログ」ワーク ・各自スクールタクトに日々の気づきを入力する。	入力状況を巡視しながら、手が止まっている生徒への声かけを行う。
5分	④ 「発表原稿とスライドについて」および「今後の予定」説明 ・探究Dayが体育館でのポスターセッション形式(発表6分、質疑6分)であることを確認する。 ・スライド構成(A3用紙8枚)と、それぞれの要点(要約、色・サイズの強調、図表化)を説明する。 ・配信された「発表原稿シート」の構成(タイトル～締めくくりまでの6パート)を解説	・スライドの例を見せながら、「ただだらと文章を書かず、伝えたい要点だけを目立たせる」重要性を視覚的に理解させる。 ・原稿作成においては、「初めて聞く人でもわかる説明」を意識するよう指導する。 ・本日は原稿作成に注力し、次回までに原稿を必ず完成させるよう伝える。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	する。 ・次回の授業までの発表原稿の完成と、その後のスライド作成・印刷・貼り合わせ、発表練習のスケジュールを提示する。	
35分	⑤ 発表原稿作成(ワーク前半) ・グループ内で共有フォルダー内の「発表原稿シート」を開き、共同編集を始める。	・各グループで執筆の分担や議論が円滑に行われているか確認する。 ・リサーチクエスチョンや背景の説明に飛躍がないか机間巡視で適宜アドバイスを行う。
10分	休み時間	
【2時限目】		
49分	⑥ 発表原稿作成(ワーク後半) ・前半に引き続き、原稿の作成およびブラッシュアップを進める。	・進捗の遅れているグループがないか確認し、記述の要約方法について具体的な支援を行う。 ・内容の議論が停滞している場合は、教員が問いを投げかけて整理を促す。
1分	⑦ 次回の予告 ・次回の授業までに発表原稿を完全に完成させるよう改めて念押しする。	提出期限を厳守させるとともに、次回のスライド作成へ向けた見通しを持たせて授業を締めくくる。